

LED使う空気清浄機

ナノウエーブ 高出力で除菌力向上

光触媒製品開発のナノウエーブ（東京都八王子市）は発光ダイオード（LED）を使って細菌やウイルスを分解する空気清浄機を開発した。光の出力を強めたほか、触媒の表面積を広げることで除菌力を高めた。新型コロナウイルスの感染防止需要を見込み、家電量販店などで販売する。

40畳用（税抜き26万円）、綿谷製作所（長野県上田市）が10畳用（同約7万円）を製造した。初年度はそれぞれ10万台の販売を目指す。

光触媒は光を触媒の酸化チタンに当て、活性酸素を発生させることで細菌などの有機物を酸化分解する仕組み。ナノウエーブはLEDを高集積させ、10畳用では明るさを従来のLED照明の約13倍に高めた。

ファイルターの表面をひだ状にすることで酸化チタンの表面積を広くした。